

Power Virtual Server 最新情報 - 2023夏



Power Virtual Server
Serves as the compute space for workloads



目次

1. Power Virtual Server の実績状況
2. Power Virtual Server Highlight 2023 2Q
 - Migration Acceleration プログラム
 - SAP 環境構築の自動化
3. クラウドネットワークおさらい
4. Power Virtual Server オファリング情報 - おさらい
 - Power Hybrid Cloud 報奨金プログラム
 - IBM Power Virtual Server “Move” 報奨金プログラム
 - Mobile IBM i

Power Virtual Server 日本の実績状況

2023年6月

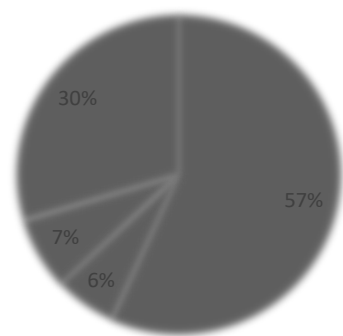
日本の Power Virtual Server 利用累積アカウント数：のべ約90 アカウント

2023年 1 - 6月までにPower Virtual Server を利用開始したアカウント数：半年で昨年の**2倍**

2023年 1 - 6月 のご契約金額：2022年1年間の約**300%**

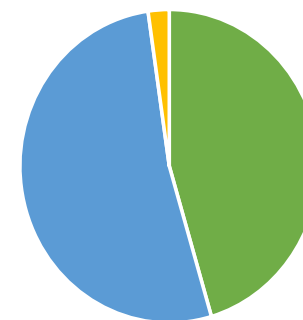
1H 無料POCを利用してご契約に至ったお客様：約**60%**

Power Virtual Serverの使用方法



本番 開発 DR先 検証環境

Power Virtual Server - 利用OS



AIX IBM i Linux

- アカウント数での統計
 - インスタンス数
- AIX > IBM i > Linux

Highlights
2023 2Q

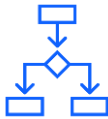
- ユーザービリティと品質の向上
- Migration Accelerationプログラム
- クラウドネットワークの統合 (US)

18

データセンターを世界に展開 / 拡張中

550+

本番環境、HA/DR、開発/テストのユースケースをデプロイしたお客様



オンプレミスとして一貫したアーキテクチャを備えた完全なエンタープライズスタック



優れた耐障害性、パフォーマンス、セキュリティ



Oracleによるサポート
SAP 認定
IBM i ISV の対応

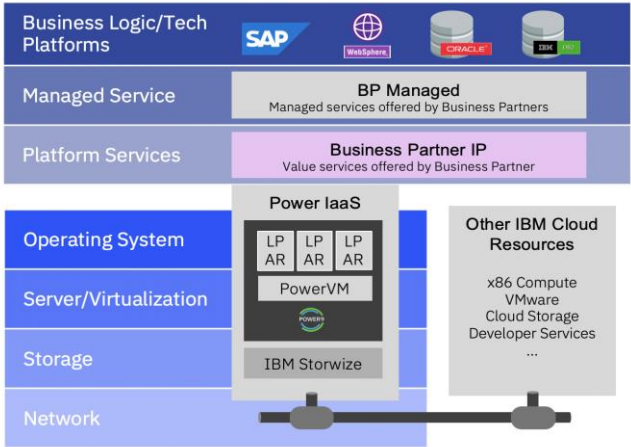


幅広いコンプライアンス認定取得

- GDPR
- SOC 1 Type I , II
- PCI DSS Certification
- ISO 27K
- 2023年: SOC 2 Type I ,II (再認定)



柔軟で費用対効果の高い消費



IBM Power Virtual Server の展開場所* ●

7ヶ国 18 データセンター (拡張中)

Americas (4 Regions)

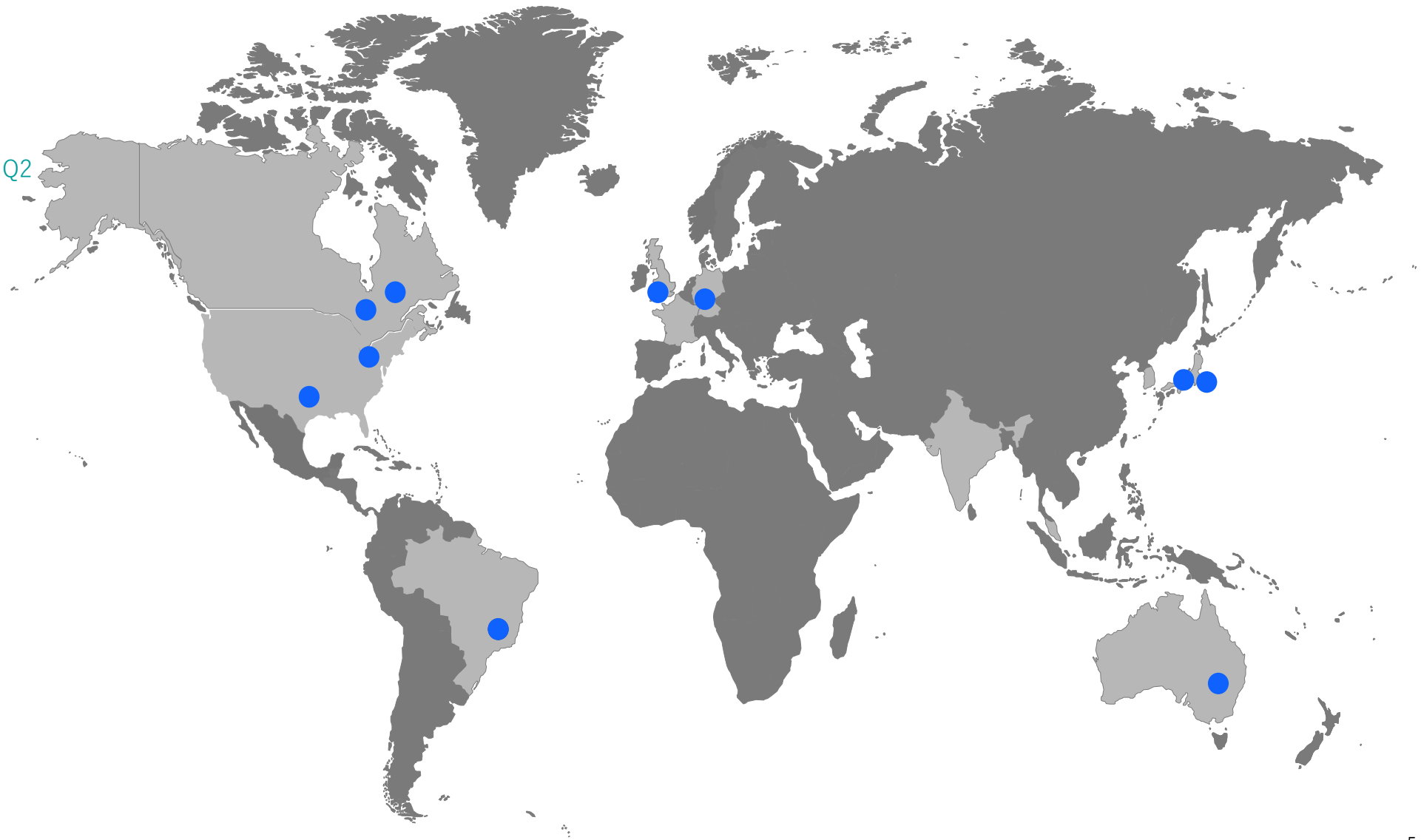
- Dallas (3). DAL10 '23 Q1
- Washington DC (3) WDC07 '23 Q2
- Toronto
- Montreal
- Sao Paulo (2) SAO4 '23Q2

EMEA (2 Regions)

- Frankfurt (2)
- London (2)

APAC (3 Regions)

- Sydney (2)
- Osaka
- Tokyo
- Chennai (coming soon)



エンドツーエンドのエンゲージメントモデル

移行インセンティブ、規範的ガイダンス、ツール、専門家による支援の提供

Migration Acceleration プログラムとは？

オンプレミスのPower 環境を
Power Virtual Serverに移行するた
めの評価/意思決定プロセスを簡素
化し、迅速にします。

テクノロジーの変革をお手伝いし、
確信を持って意志決定が可能にな
ります。

成功モデルの共有: IBMは、専門知
識、インセンティブ、方法論、
ツール、およびベストプラクティ
スを提供するクライアントと共同
投資し、提携します



実証済みのプロセス

IBM マイグレーション・
エキスパートによる規範
的ガイダンス、ビジネス
/技術計画、および戦略



共同投資&パートナー

全額出資のワークショップ、
および価値の証明(POC)の
提供。

移行コストを相殺するた
めの金銭的インセンティブ



専門家のガイダンス

IBM Cloud 向けの実証済み
の移行パターン、コード/
ツール、デプロイ可能なアー
キテクチャー を備えたテク
ノロジー・エキスパート



スキル構築

ワークショップにより膝を
付き合わせて、技術トレー
ニング、認定、評価を実施



評価と計画

運用ワークロード、および運用評価。
ターゲット アーキテクチャーと移行計
画を計画/設計します。

価値証明 (POC) のパイロット ワーク
ロードを特定します。確信を持って、
決定をサポートする計画を証明します。



ビジネスケース& TCO

包括的なビジネス・ケースとTCOを構築
するためのIBMクラウド・バリュー・エ
ンジニアリング・ガイダンス。



Proof of Value (POC)

IBMが100%出資 クラウドプラット
フォームのクレジットとエキスパート
ラボサービス時間を含みます。

目標は、測定可能な成功基準を使用し
てビジネスおよび技術計画を検証する
ことです。

POC 中に運用ワークロードのオンボー
ドエクスペリエンスを成功させます。



Migration Acceleration インセンティブ

移行のコストを相殺するための金
銭的インセンティブ。IBM は、移
行コストの最大 **50%** に対してクラ
ウドクレジットを提供します。

プログラムの資格認定には、署名
された **3 年間の Power Virtual
Server 契約**と、移行のための作業
明細書が必要です。

Power Virtual Server
PROOF (POC) プログラム概
要

Cloud Credits + Expert Lab
サービスにPOCを実施するため
100%資金提供した時間:

共同開発と早期エンゲージメン
トにより、お客様の意思決定ま
での時間を短縮し、お客様が自
信を持って決定できるようにし
ます

クレジットはお客様に直接配信
されます。

Route/Channel neutral

Services Delivery Route
Neutral

案件のサイズ (USD)	PROOF PROMO Tier	Cloud Credits	Expert Lab Services 全額出資時間
ACV \$150-\$250K	30 Proof	POC アカウントに\$20,000	40 時間
ACV \$250-\$500K	50 Proof	POC アカウントに\$30,000	80 時間
ACV \$500K+	70 Proof	POC アカウントに\$45,000	100 時間
ACV \$500K+	**100 Proof (New)	POC アカウントに\$50,000	200 時間

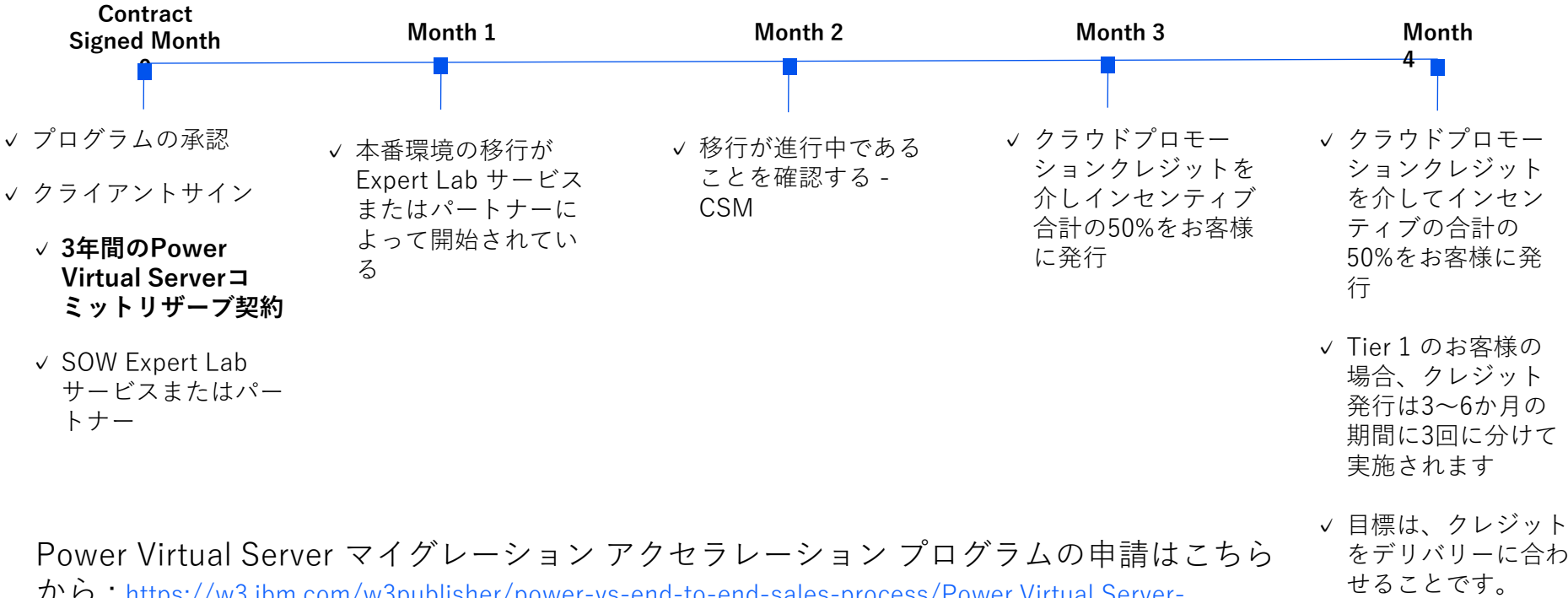
**100 Proof, DR/HA/バックアップとビジネス継続性のシナリオを含むように拡張されました。

Power Virtual Server PROOF(POC) Program は以下から申請:
[https://w3.ibm.com/w3publisher/ibm-cloud-sales-poc/request-Power Virtual Server-poc-promo](https://w3.ibm.com/w3publisher/ibm-cloud-sales-poc/request-Power%20Virtual%20Server-poc-promo)

Power Virtual Server マイグレーションプログラムを利用してクラウドプロモーションコードをお客様にクレジットする例

- お客様に直接提供されるクレジット
- Route/Channel neutral
 - Services/Delivery Route Neutral

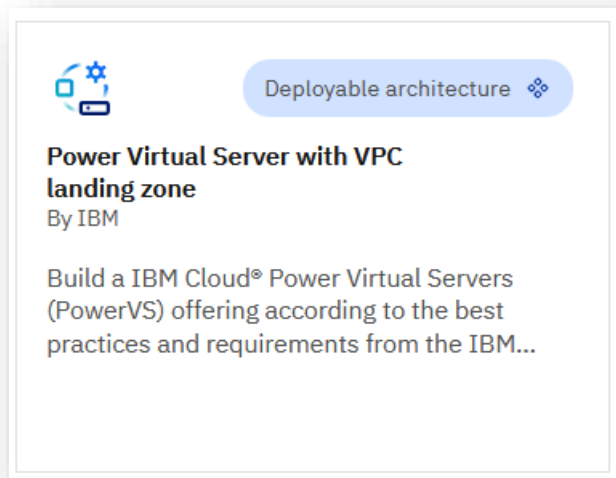
Client Tier	ACV Revenue Range	ACV	TCV	Target Migration Cost 20% of 3Yr. TCV	Migration Cost Example	Credit Incentive	Client Credit Example
Tier 1	\$500K +	\$500,000	\$1,500,000	20%	\$300,000	50%	\$150,000
Tier 2	\$250K-\$500K	\$250,000	\$750,000	20%	\$150,000	35%	\$52,500
Tier 3	\$150K-\$250K	\$150,000	\$450,000	20%	\$90,000	25%	\$22,500



Power Virtual Server マイグレーション アクセラレーション プログラムの申請はこちらから：[https://w3.ibm.com/w3publisher/power-vs-end-to-end-sales-process/Power Virtual Server-migration-acceleration](https://w3.ibm.com/w3publisher/power-vs-end-to-end-sales-process/Power%20Virtual%20Server-migration-acceleration)

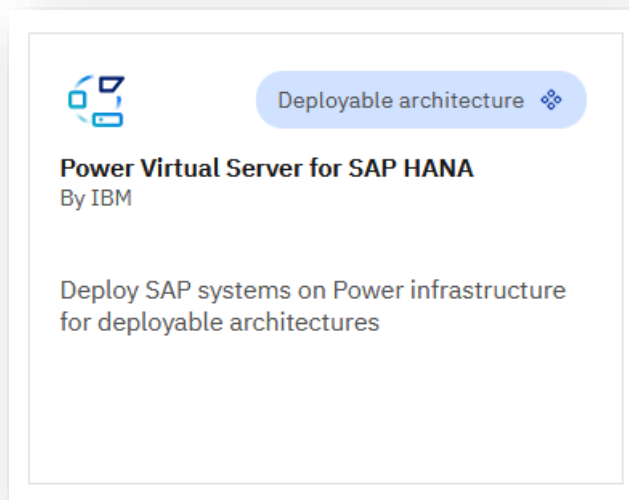
Automation -展開可能なアーキテクチャ SAP on Power Virtual Server

#1



IBMのベストプラクティスに基づいて Power Virtual Server ワークスペースを構築し、IBM Cloud のネットワーキング、COS, VPN, Transit Gateway、セキュリティーサービスなどのVPCゾーンに接続

#2



S/4HANA デプロイ用の Power Virtual Server インスタンスの作成 IBM と SAP のベスト プラクティスに基づいて、強化およびテスト済みの Linux イメージをデプロイ

- クライアントとGSIのための Power Virtual Serverの作成を簡素化
- IBM & SAP のベスト・プラクティスに基づく
- 価値実現までの時間を短縮
- デフォルトでセキュリティ保護
- 導入時間の短縮
- リスクの軽減
- コスト削減
- 工数の削減
- デプロイの繰り返し作業を可能にする

IBM Cloud

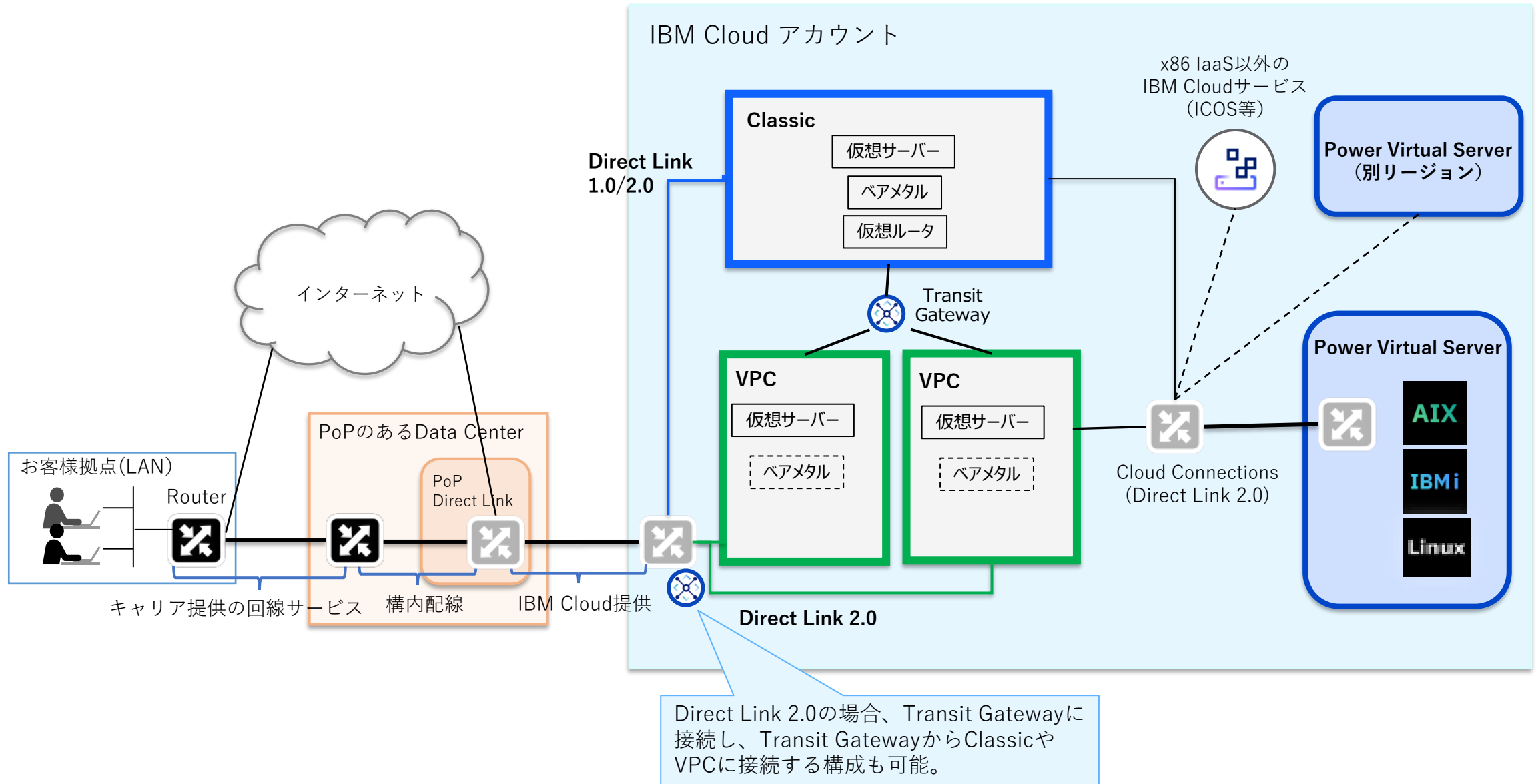
+

Power Virtual Server

Network



IBM Cloud + Power Virtual Server ネットワーク概観



IBM Cloud のNetwork

Classic / VPC / Power Virtual Server の概要

Classic :

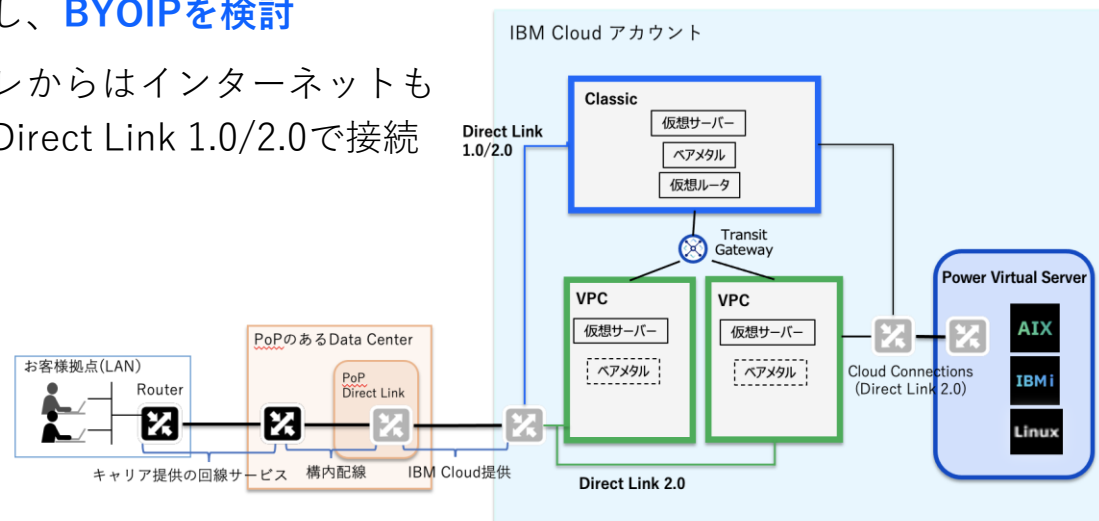
- IBM Cloud初期から存在するx86向け基盤
- 世界中フラットなネットワーク
- 海外含む他DCのサーバーと追加の通信費用無しで通信可能
- サーバーのIPアドレスは **10.0.0.0/8の範囲からIBM Cloudが払い出し**
- オンプレミスと接続する際に 10.0.0.0/8の重複が問題になる場合、ユーザーがオーバーレイNWを構成し、 **BYOIPを検討**
- オンプレからはインターネットもしくはDirect Link 1.0/2.0で接続

VPC :

- 2019年から国内提供開始
- x86とIBM Z向けの基盤
- **ユーザーが定義したサブネットからサーバーのIPアドレスを割り振り (BYOIP可)**
- ネットワークはVPC毎に独立
- VPC間やClassicとはTransit Gateway経由で通信 (従量課金)
- オンプレからはインターネットもしくはDirect Link 2.0で接続

Power Virtual Server

- Classic/VPCからは独立したPower用のネットワーク
- IBM Cloudに隣接した専用のコロケーションエリア
- ClassicやVPCとはCloud Connections (Direct Link 2.0) で接続
- **ユーザーが定義したサブネットからサーバーのIPアドレスを割り振り (BYOIP可)**
- オンプレミスからDirect Linkによる直接接続は現在不可(2023/6にDAL10のみPER機能を提供開始)
- ClassicもしくはVPCを介してオンプレミスから接続 (インターネット、Direct Link 1.0/2.0)



IBM Cloud のインフラとは

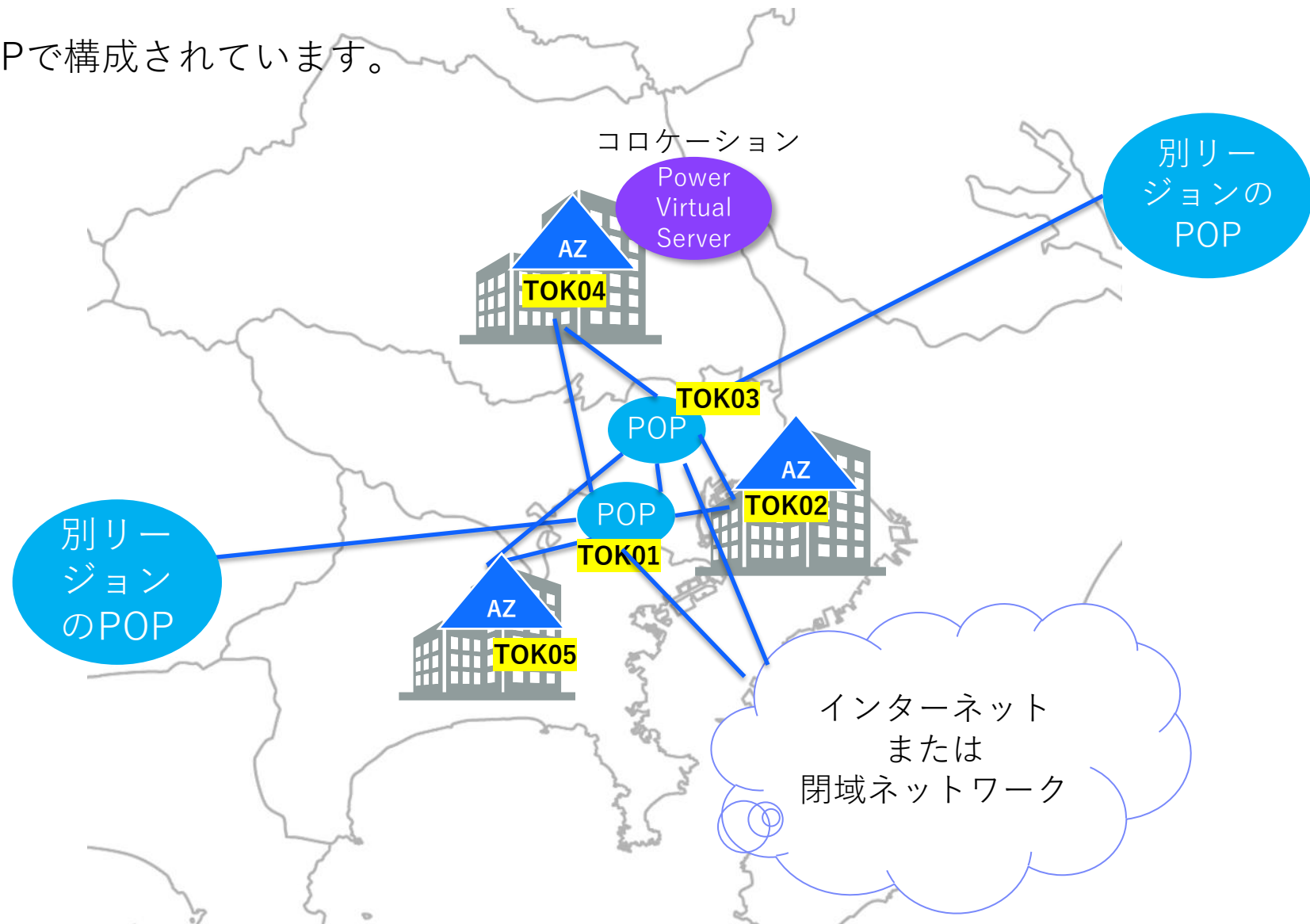
IBM Cloud 東京リージョン

- 東京リージョンは3DC, 3AZ, 2POPで構成されています。



知っ得情報

- Classic Infrastructure環境では、任意のデータセンター間通信が無料です。
- VPC環境でも、同一VPC内のゾーン間通信は無料です。
- ネットワーク転送の従量課金制に縛られることなく、グローバルにまたがるシステムを比較的安価に構築できることが、多くの利用者から高く評価されています。



IBM Cloud のインフラとは

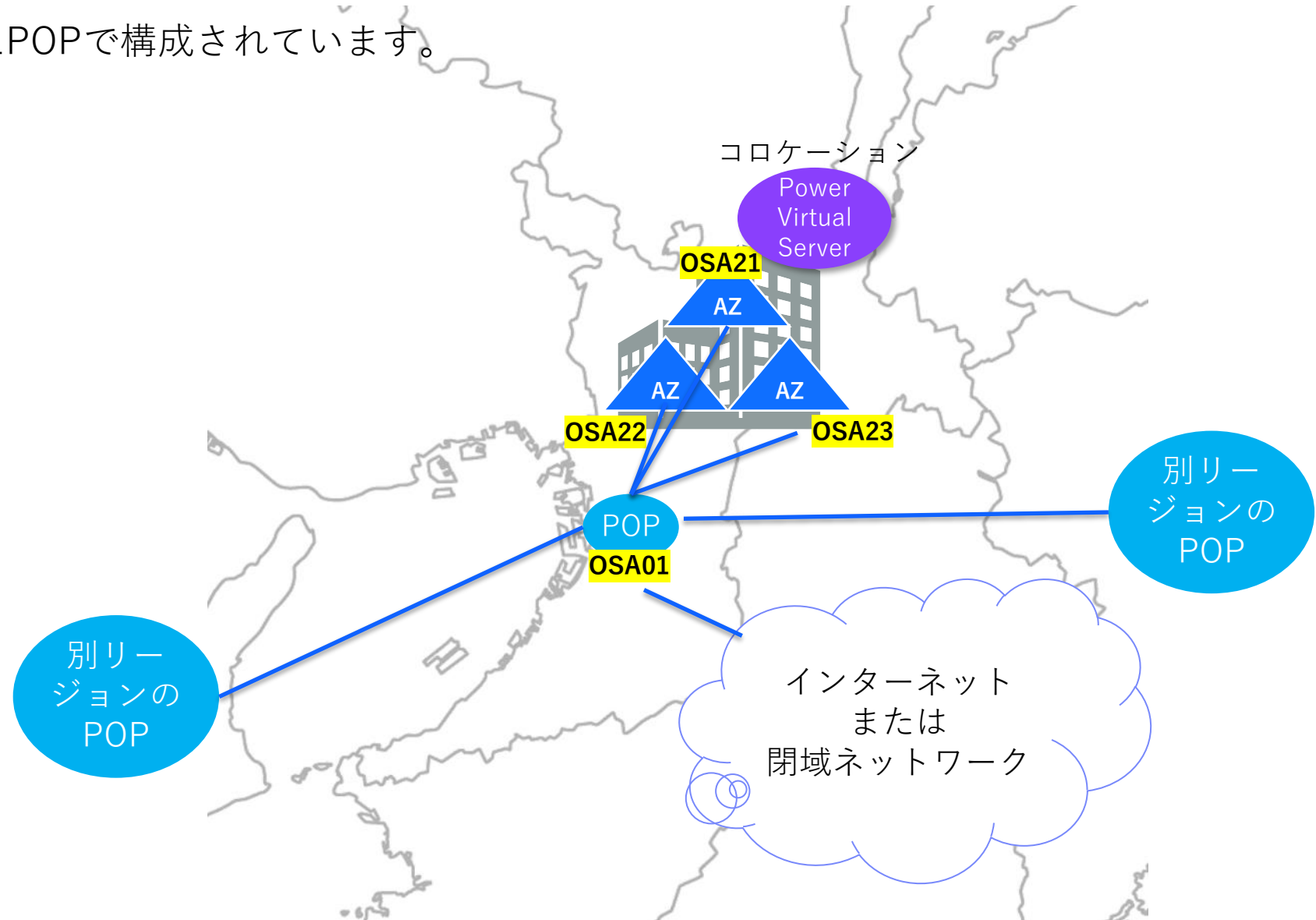
IBM Cloud 大阪リージョン

- 大阪リージョンは、1DC, 3AZ, 1POPで構成されています。



知っ得情報

大阪リージョンは、1つのデータセンターで3つZoneを構成しているため、single campus MZRs（シングルキャンパスMZR）と呼ばれることもあります。



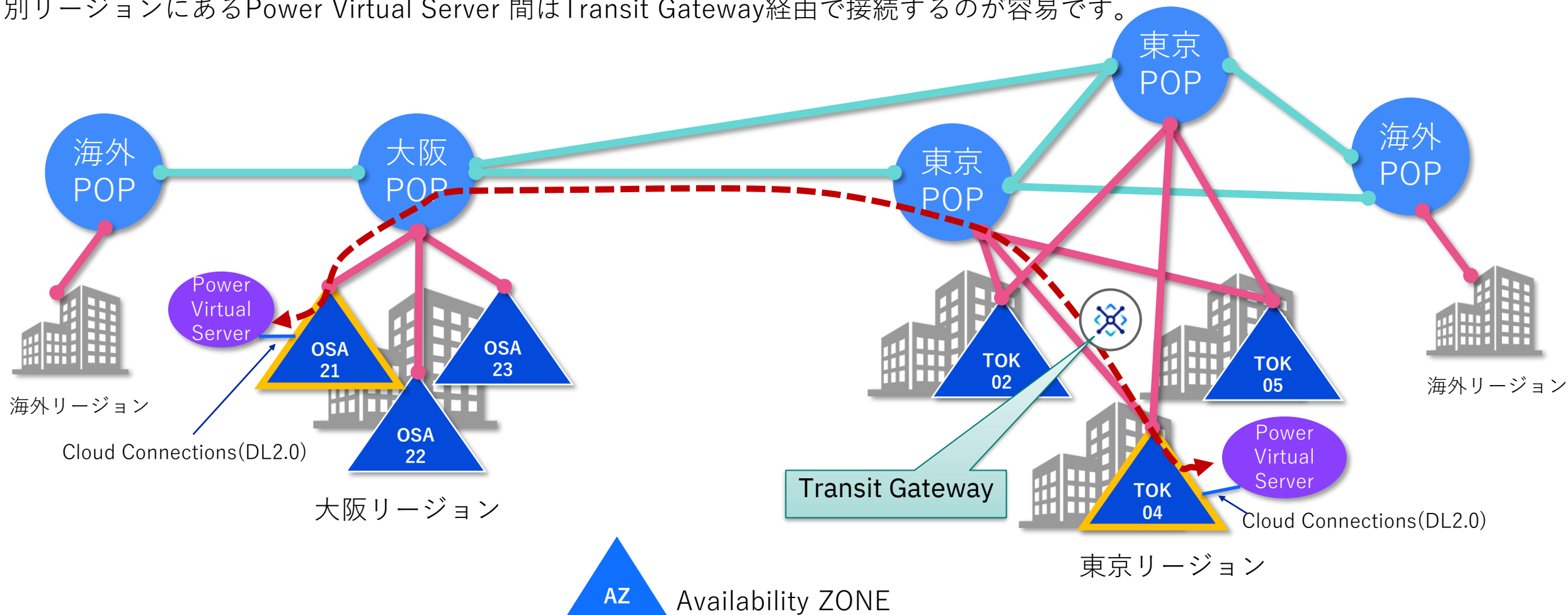
日本のPower Virtual Serverの位置関係

Power Virtual Serverは、東京リージョンは**TOK04**、大阪リージョンは**OSA21**にコロケーションしています。

東西のPower Virtual Server間の通信は、IBM Cloudのネットワークを使います（Cloud ConnectionsでIBM Cloudネットワークに接続）

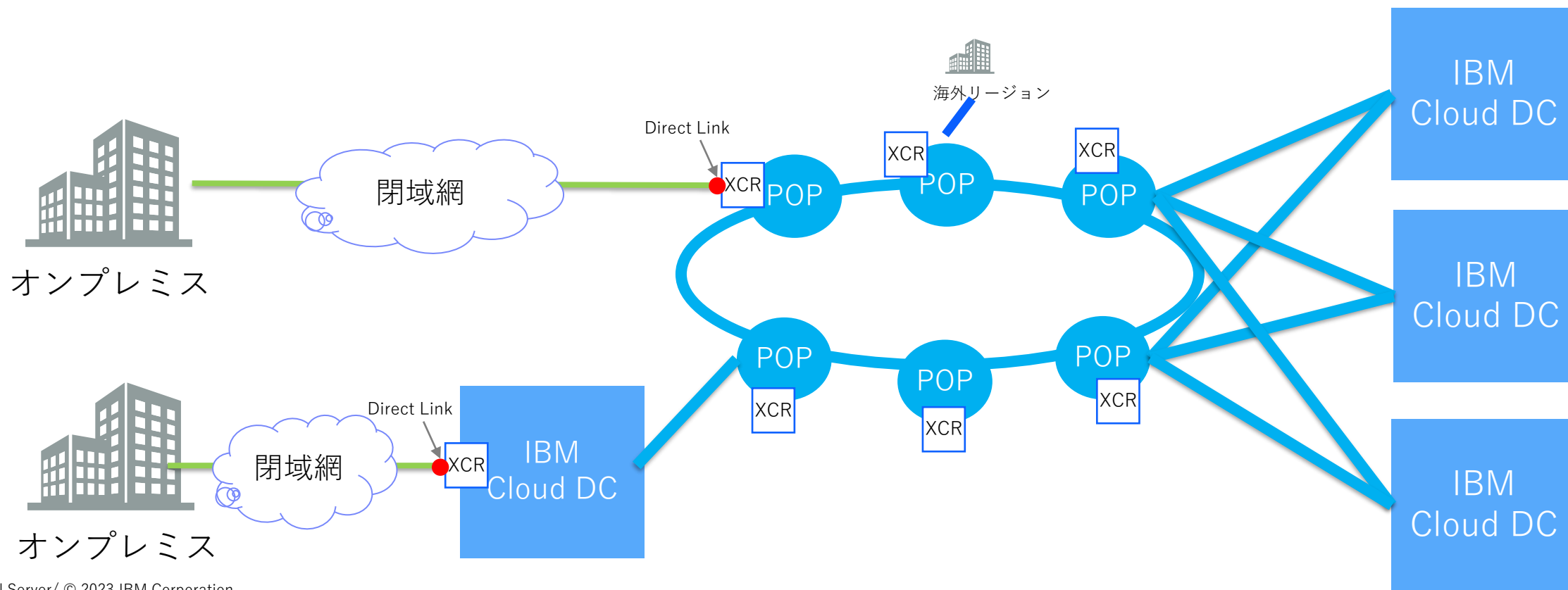
IBM Cloudのゾーン間、リージョン間は、広帯域・低遅延・セキュアなプライベートネットワークで接続されています。

別リージョンにあるPower Virtual Server 間はTransit Gateway経由で接続するのが容易です。



Direct Link

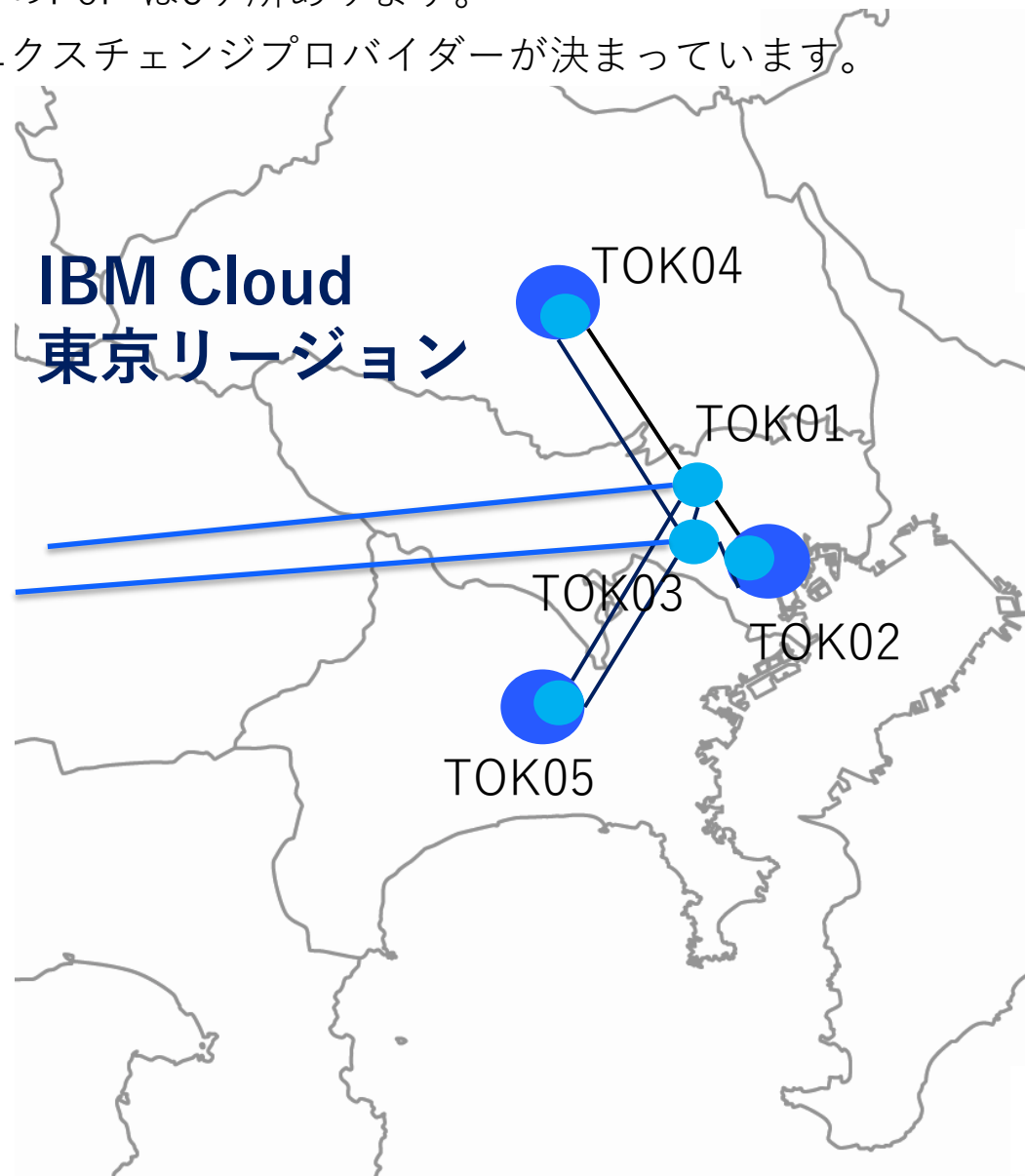
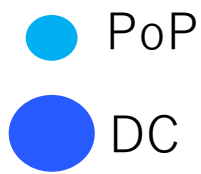
- Direct Linkとは、インターネットの代わりに閉域網を使って、IBM Cloudに接続するためのサービスです。
 - インターネット上に通信が流れないため、よりセキュアで安定した性能を確保することが可能です。
- オンプレミスからは、POPもしくはIBM Cloudデータセンターに存在するXCR(Cross Connect Router)経由で、任意の拠点におけるIBM Cloudデータセンター上のリソースと通信が可能となります。
 - IBM CloudのDirect Linkサービスとは、XCRにおける接続ポートを提供するサービスです。
- Direct Link on Classic(1.0)とDirect Link 2.0があります。新規構築の場合、2.0がお勧めとなりますが、on Classicのみ対応しているエクステンジブプロバイダー様もまだ存在します。



閉域ネットワークからのIBM CloudへのDirect Link接続

IBM Cloud東京リージョンのPoP は5ヶ所あります。
PoPごとに、利用可能なエクスチェンジプロバイダーが決まっています。

IBM Cloud
他リージョンへ



DL2.0 Connect エクスチェンジプロバイダーリスト

Location	Providers
Tokyo 1	BBIX Colt Equinix Zenlayer
Tokyo 2	AT Tokyo Megaport
Tokyo 3	BBIX Colt Equinix Megaport Tokai
Tokyo 4	IBM Power Virtual Server Softbank
Tokyo 5	NTT

<https://cloud.ibm.com/docs/dl?topic=dl-locations#connect-locations>

閉域ネットワークからのIBM CloudへのDirect Link接続

IBM Cloud大阪リージョンのPoP は2ヶ所あります。

PoPごとに、利用可能なエクスチェンジプロバイダーが決まっています。

DL2.0 Connect エクスチェンジプロバイダーリスト

Osaka 1

AT Tokyo

Console Connect

Equinix

Megaport

Tokai

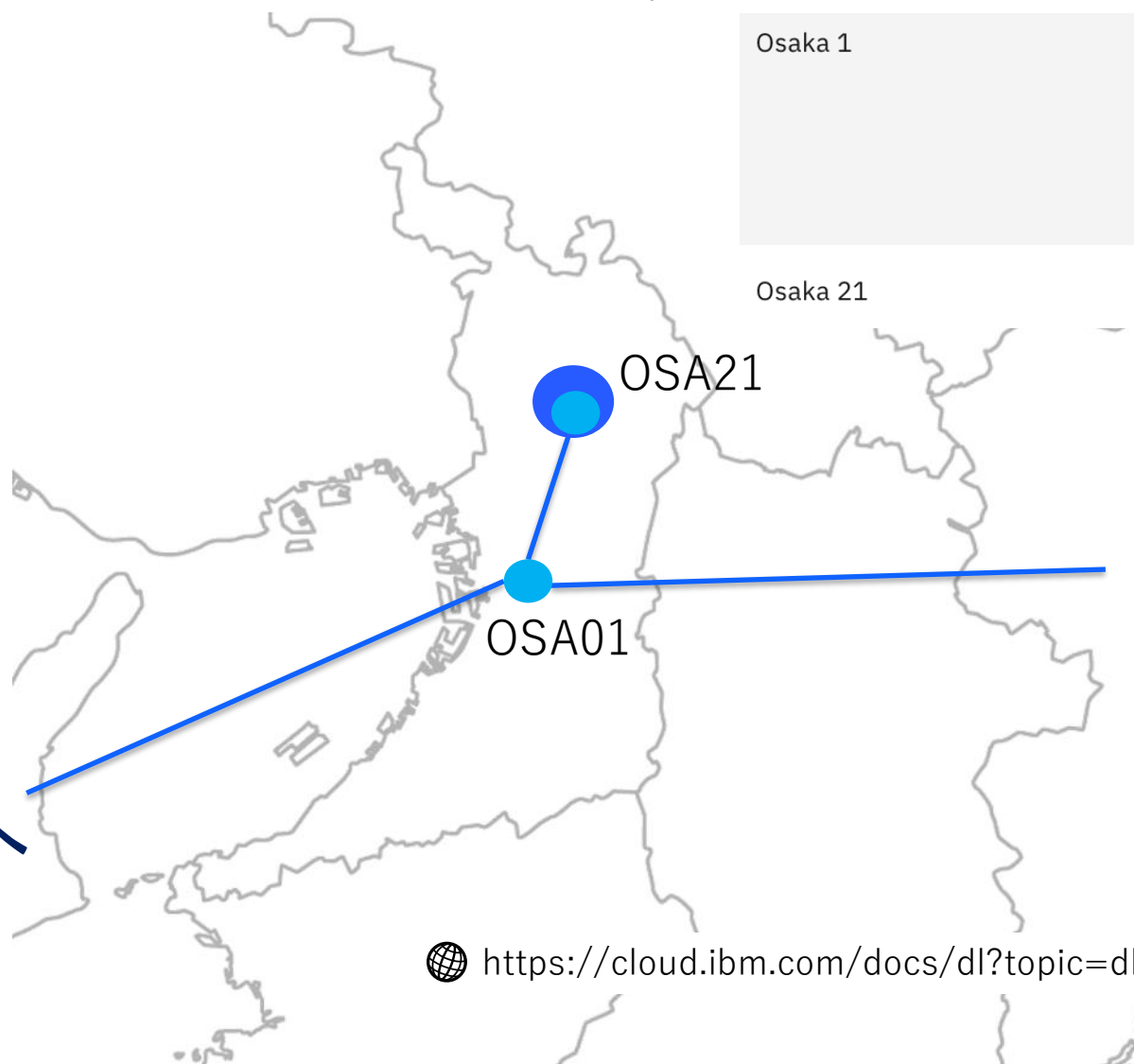
Osaka 21

IBM Power Virtual Server



IBM Cloud
他リージョンへ

IBM Cloud
他リージョンへ



 <https://cloud.ibm.com/docs/dl?topic=dl-locations#connect-locations>

閉域ネットワークからのIBM CloudへのDirect Link接続

各エクスチェンジプロバイダー様がIBM Cloudへの接続サービスを提供しています。

接続に関する詳細な内容や見積もり・契約については各エクスチェンジプロバイダー様と会話する必要があります。

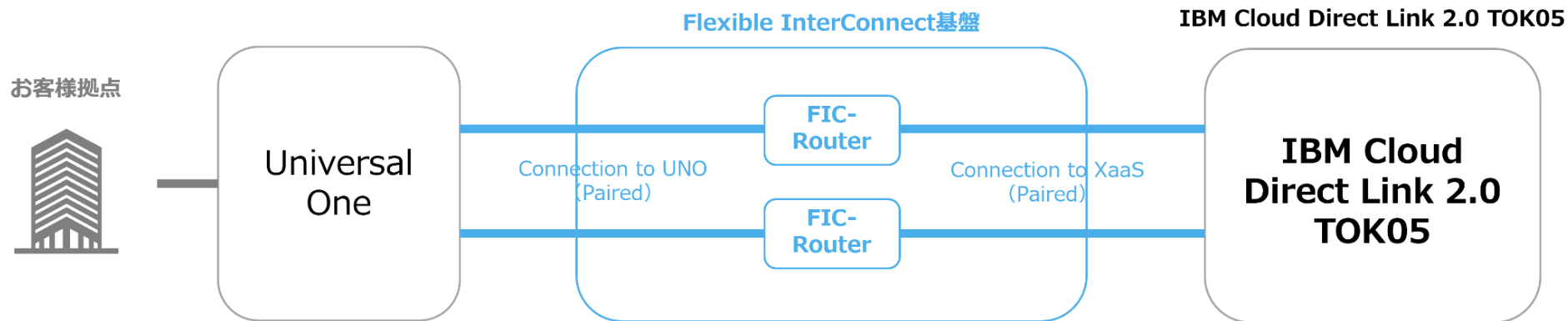
例：NTT Communications様が提供する接続サービス Flexible InterConnect(FIC)

IBM Cloud Direct Link 2.0 (TOK05)

Direct Linkと接続することにより、お客様は自社のITインフラからIBM Cloud のプライベート・ネットワークおよびクラウド・サービスとの間に専用ネットワーク接続を確立できるようになります。

ネットワーク・パフォーマンスの高速化と安定化を図り、データ・セキュリティを高めるDirect Linkは、プライベート・インフラとIBM Cloud プラットフォームを統合するハイブリッド・コンピューティング・ソリューションを構築する新しい機会をお客様にもたらしめます。

構成例



<https://sdpf.ntt.com/services/fic/connected-service/#ay>

- 2022年3月時点で、日本国内のDCやPOPに対しオーダー可能なDirect Linkのタイプと場所は下記の通りです。

IBM Cloud 施設名 Direct Link タイプ	Tokyo 1 (POP1)	Tokyo 2 (TOK02)	Tokyo 3 (POP2)	Tokyo 4 (TOK04)	Tokyo 5 (TOK05)	Osaka 1 (POP)	Osaka21	Osaka22	Osaka23
Direct Link Classic Dedicated	EQUINIX TY2	AT TOKYO	EQUINIX TY4	SOFTBANK	NTT	EQUINIX	IDC Frontier (SoftBank)	IDC Frontier (SoftBank)	IDC Frontier (SoftBank)
Direct Link Classic Exchange	EQUINIX TY2(注2)	AT TOKYO	EQUINIX TY4(注2)	N/A	N/A	EQUINIX	N/A	N/A	N/A
Direct Link Classic Connect	- BBIX - ZENLAYER - COLT - PCCW	MEGAPORT	- BBIX - MEGAPORT - TOKAI	- IBM POWER VS - SOFTBANK	NTT	- AT TOKYO - MEGAPORT - PCCW - TOKAI	IBM Power VS	N/A	N/A
Direct Link 2.0 Dedicated	EQUINIX TY2	AT TOKYO	EQUINIX TY4	SOFTBANK	NTT	EQUINIX	IDC Frontier (SOFTBANK)	IDC Frontier (SOFTBANK)	IDC Frontier (SOFTBANK)
Direct Link 2.0 Connect	- BBIX - ZENLAYER - COLT	- MEGAPORT - AT TOKYO	- TOKAI - BBIX - MEGAPORT - EQUINIX - COLT	- IBM POWER VS - Softbank	NTT	- AT TOKYO - TOKAI - EQUINIX - MEGAPORT	IBM Power VS	N/A	N/A

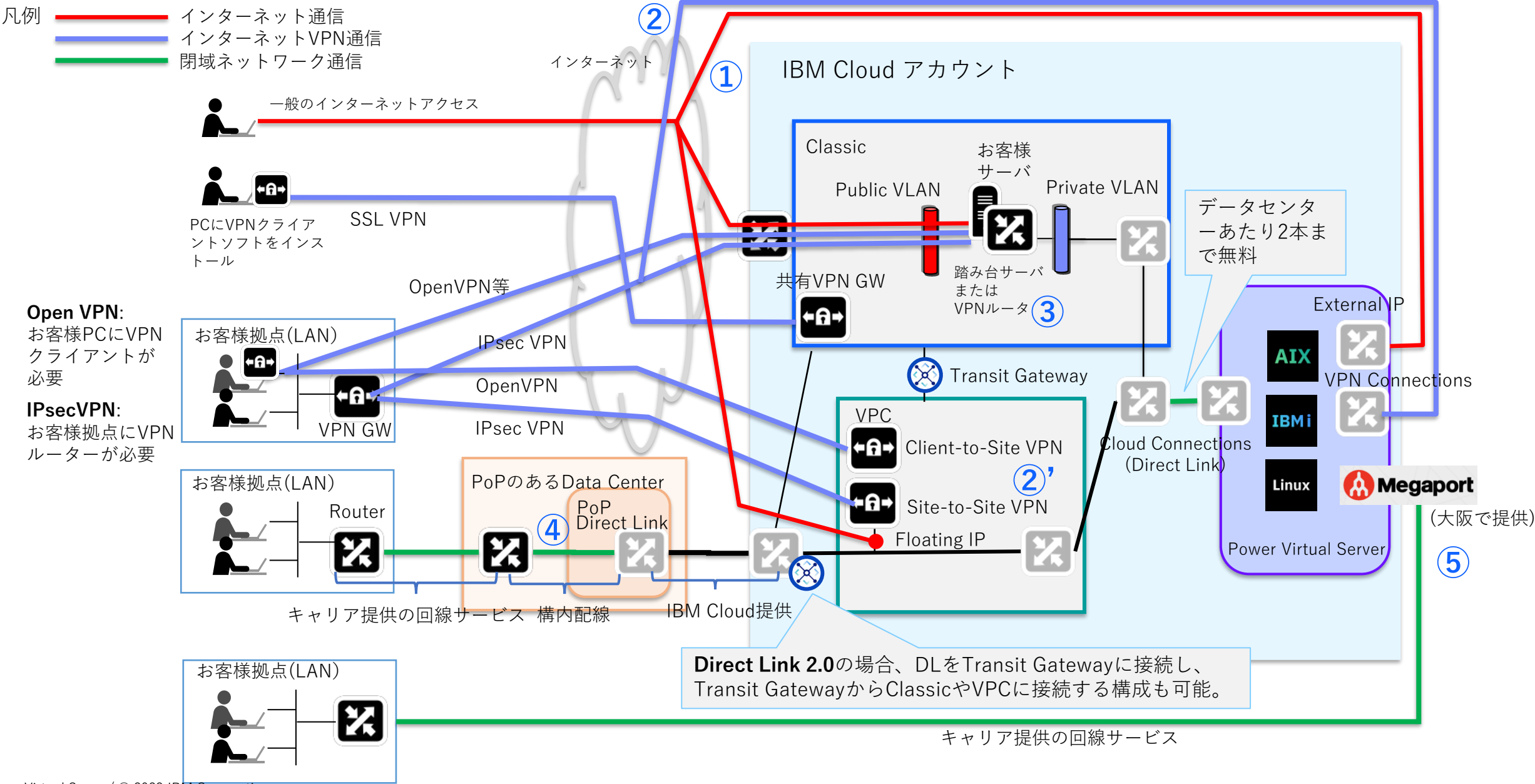
注1) Direct Link 2.0の自動化プロセスの仕様変更に伴うキャリア側の対応が2022/3月時点でまだ完了していません。最新の接続可否に関する状況はキャリア側にも確認が必要になります。

注2) 東京リージョンでEquinix Cloud Exchange (ECX) と組み合わせてPOPレベルの冗長化を行う場合は、ECXとしてはTOK03のPOPを使用し、もう1系統は、TOK03以外の場所でDirect Link DedicatedもしくはDirect Link Connectで接続を行うか、TOK02 (AT Tokyo) のExchangeサービスを使う事をおすすめします。



<https://cloud.ibm.com/docs/infrastructure/direct-link?topic=direct-link-get-started-with-ibm-cloud-direct-link&locale=en>
<https://cloud.ibm.com/docs/dl?topic=dl-how-to-order-ibm-cloud-dl-dedicated&locale=en>
<https://cloud.ibm.com/docs/dl?topic=dl-how-to-order-ibm-cloud-dl-connect&locale=en>

お客様拠点とPower Virtual Serverの接続パターン



Power Virtual Server Network 費用比較

オプション	一般的な用途	ワークロード	コンポーネント	費用(US価格)
1. インターネット接続	限定的なインターネットアクセス	テスト/開発/POC Power Virtual Server のみ (特定ポートのみ許可)	External IP Power Virtual Server の無償 オプション	無料
2. IPsec VPN (Power Virtual Serverの VPNaaS)	Power Virtual Server のみ接続するVPN アクセス	テスト/開発/POC* Power Virtual Server のみ	IBM 管理の IPsec VPN イン スタンス	約 \$ 37/月
2'. インターネットVPN接続 (VPN for VPC[site-to-site])	VPCのVPNaaS経由でPower Virtual Serverに接続	すべてのワークロード (Power Virtual Server + x86)	VPC上のIpsec VPNインスタ ンス	(接続先が1つの場合) 約 \$ 65.9/月 + アウトバ ウンド料金 (\$0.09/GB)
3. IPsec VPN (専有仮想アプライアンス [VRA, vSRX])	安全なVPNアクセス お客様管理のGateway Appliance 経由	すべてのワークロード (Power Virtual Server + x86)	専有仮想アプライアンス上の IPsec VPN インスタンス	\$ 725/月**
4. Direct Link (専用線接続)	高速プライベート帯域幅 (最大10Gbps) お客様管理の専有仮想アプライアンス	すべてのワークロード (Power Virtual Server + x86)	Direct Link 専有仮想アプライアンス	\$1,253/月*** + \$ 725/月**
5. Megaport SDN	専用プライベート帯域幅(最大10Gbps) 低レイテンシーが必要なトラフィックに 対応	Power Virtual Server のみ (日本では大阪のみで提供)	Megaport社を通じて調達し た専用プライベート帯域	\$ 1,000/月****

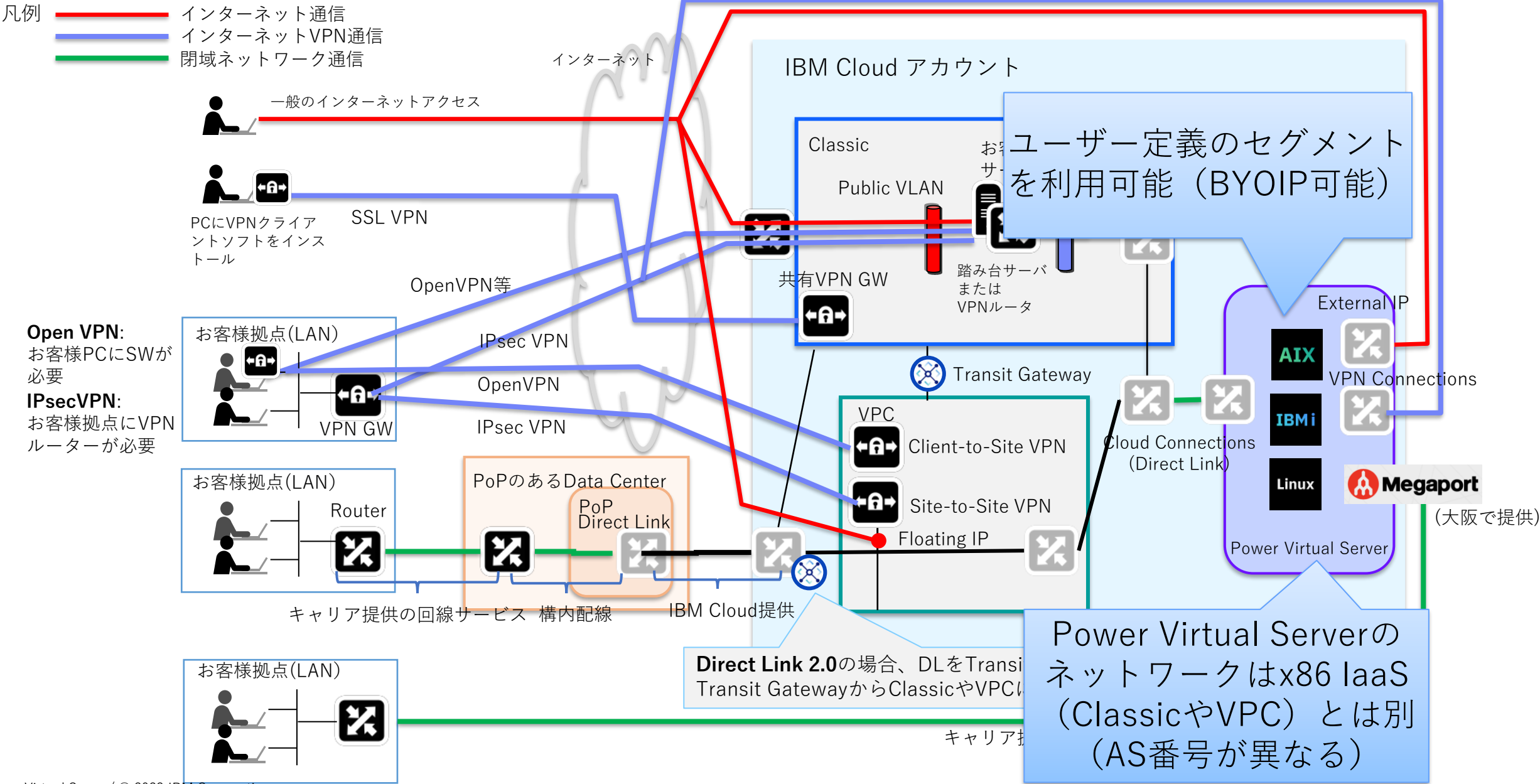
* Power Virtual ServerのVPNaaSは、共有ゲートウェイ サービスを使用しており、軽量/低トラフィックのプロダクトワークロードに好適です

** 1Gbps Single appliance Gateway

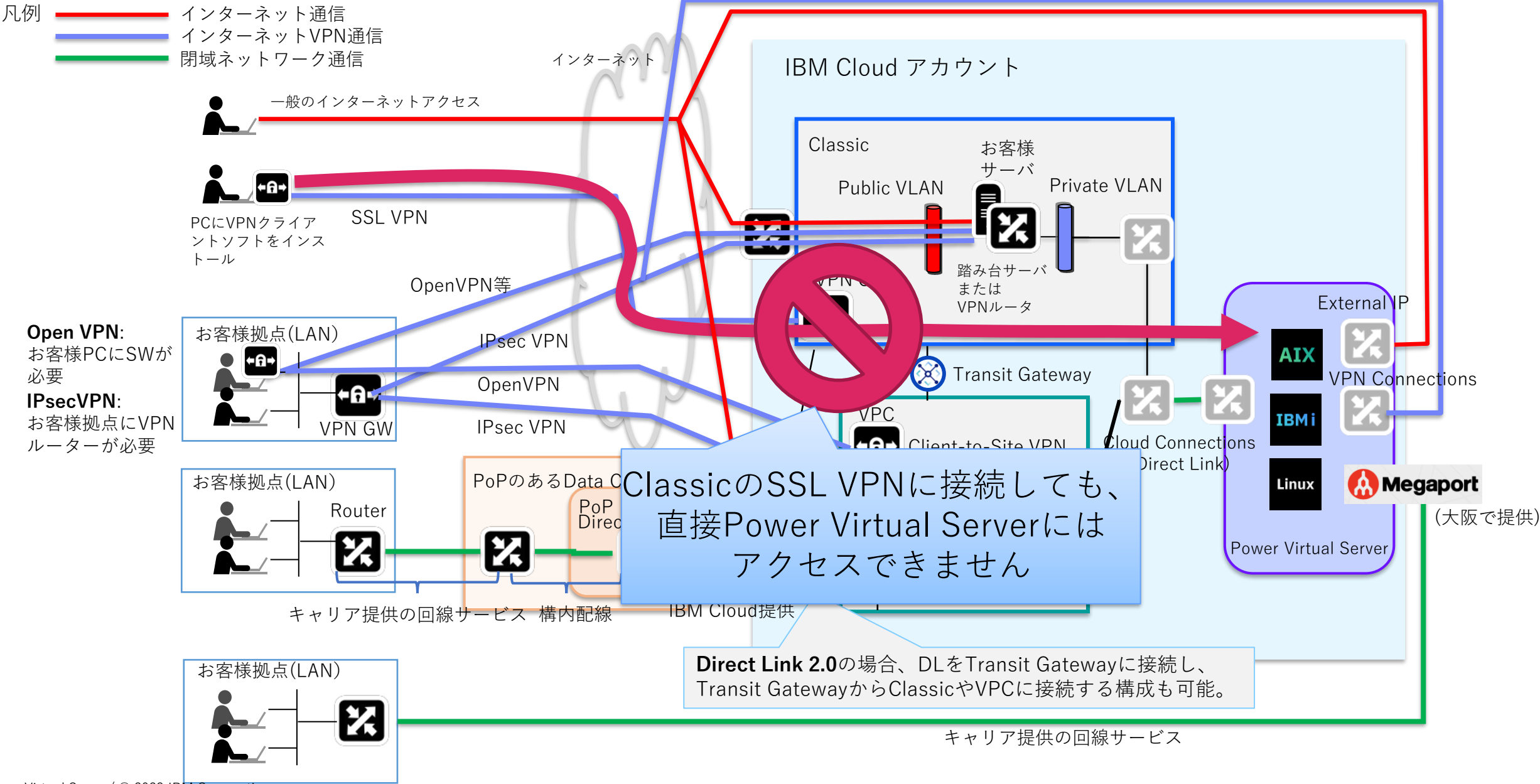
*** 1 Gbps Unmetered プラン (別途、キャリア回線費用が必要)

**** 1Gbps帯域をMegaport社から直接調達 (正確な見積もりはMegaport社から取得。別途、キャリア回線費用が必要)

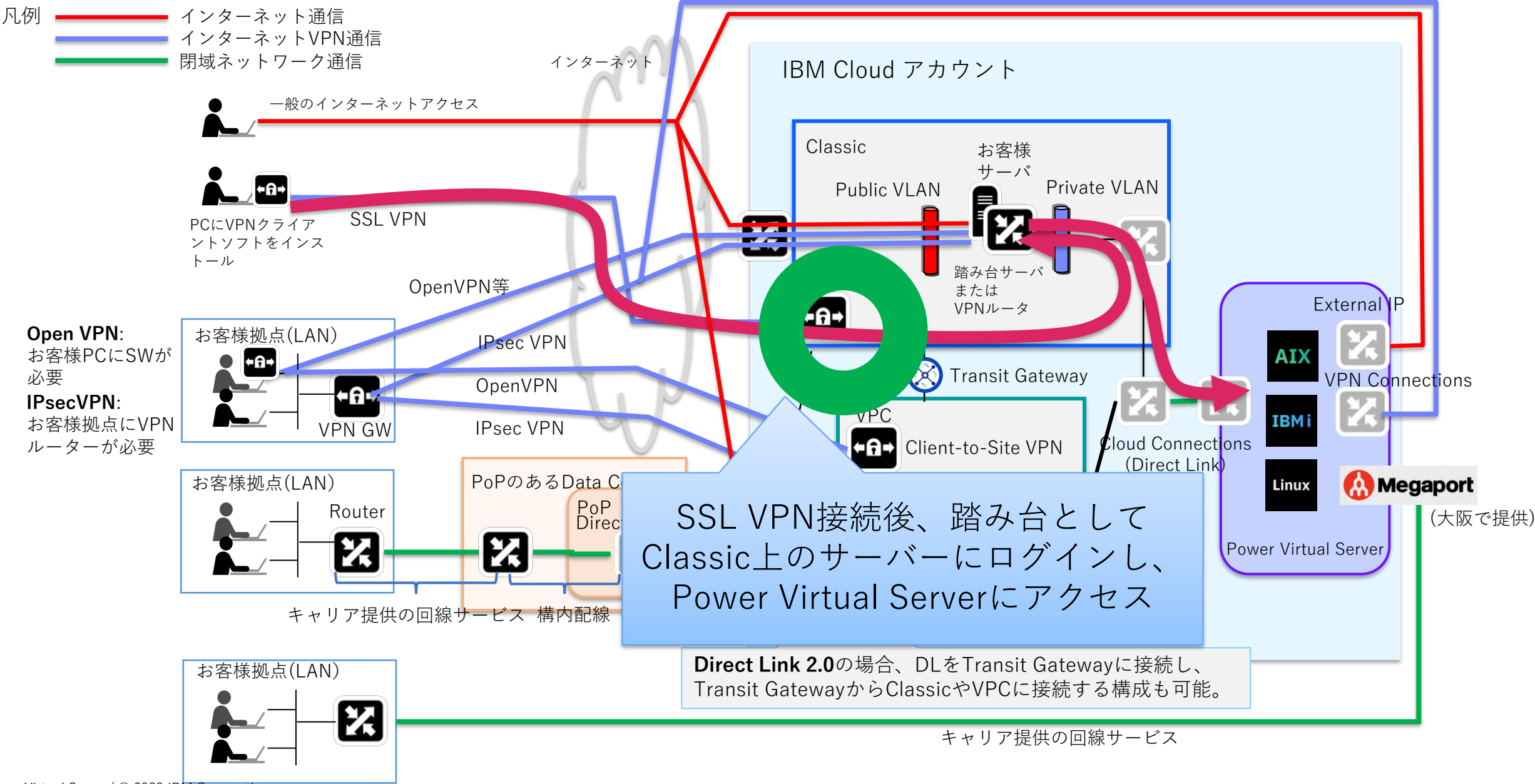
お客様拠点とPower Virtual Serverの接続パターン



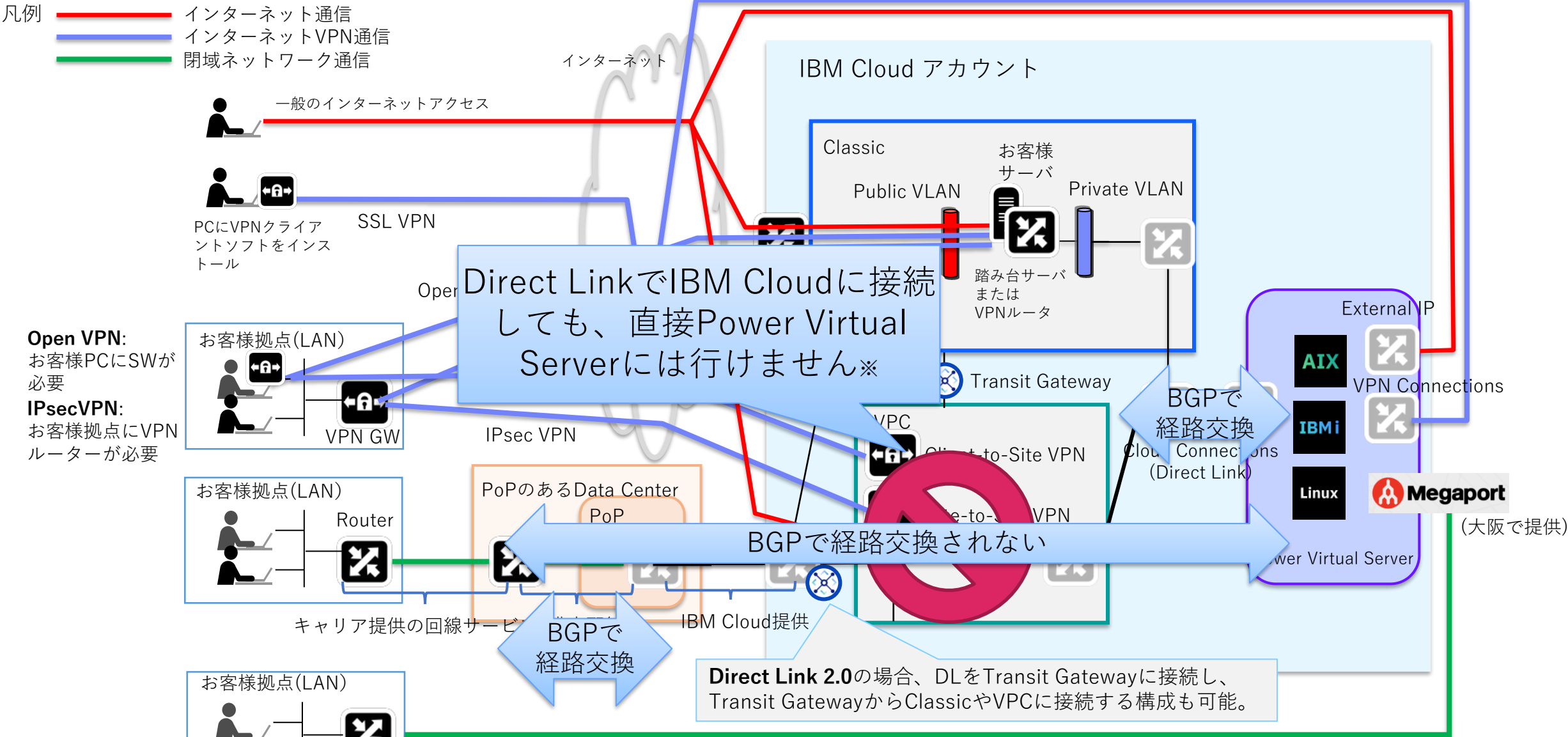
お客様拠点とPower Virtual Serverの接続パターン



お客様拠点とPower Virtual Serverの接続パターン

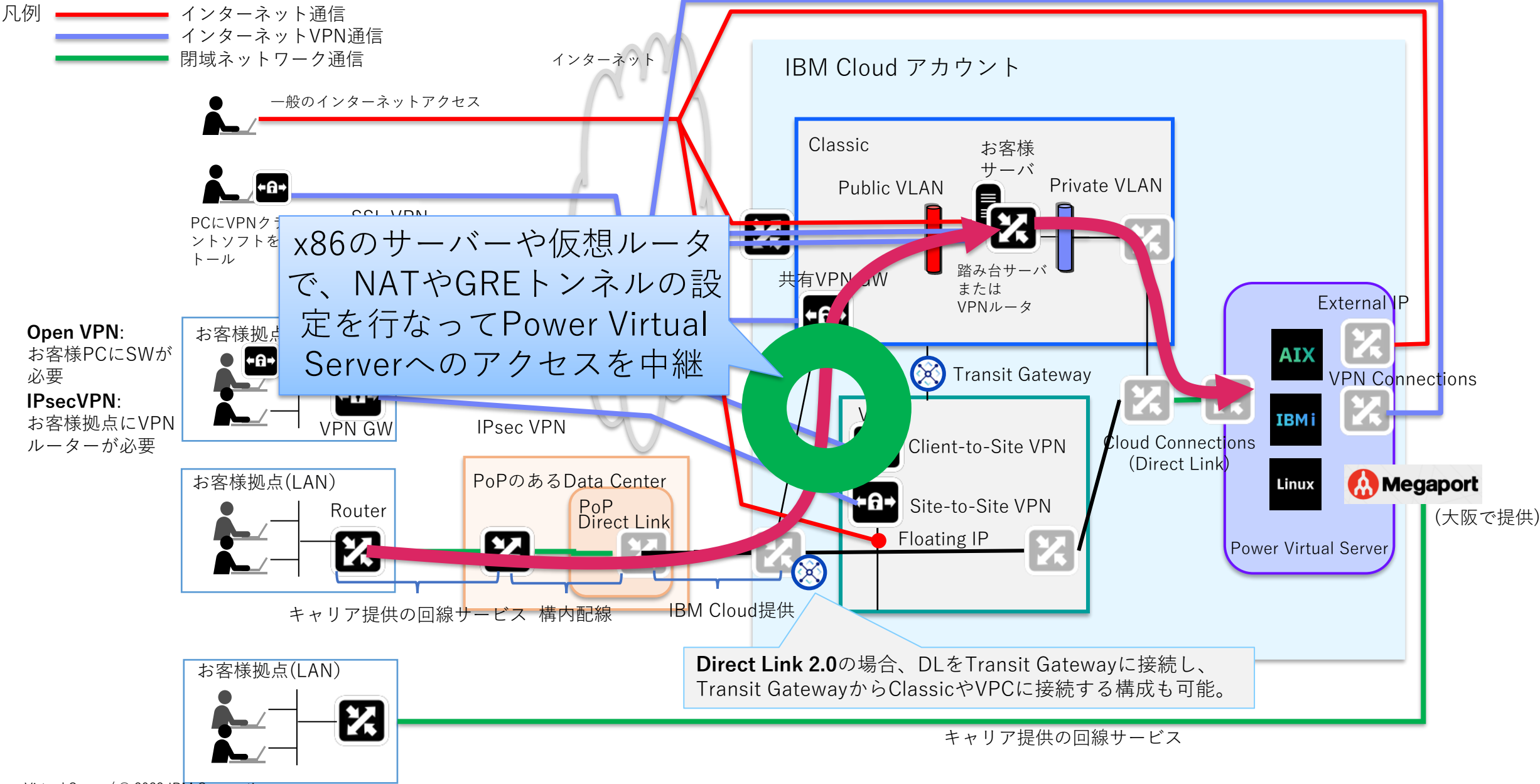


お客様拠点とPower Virtual Serverの接続パターン



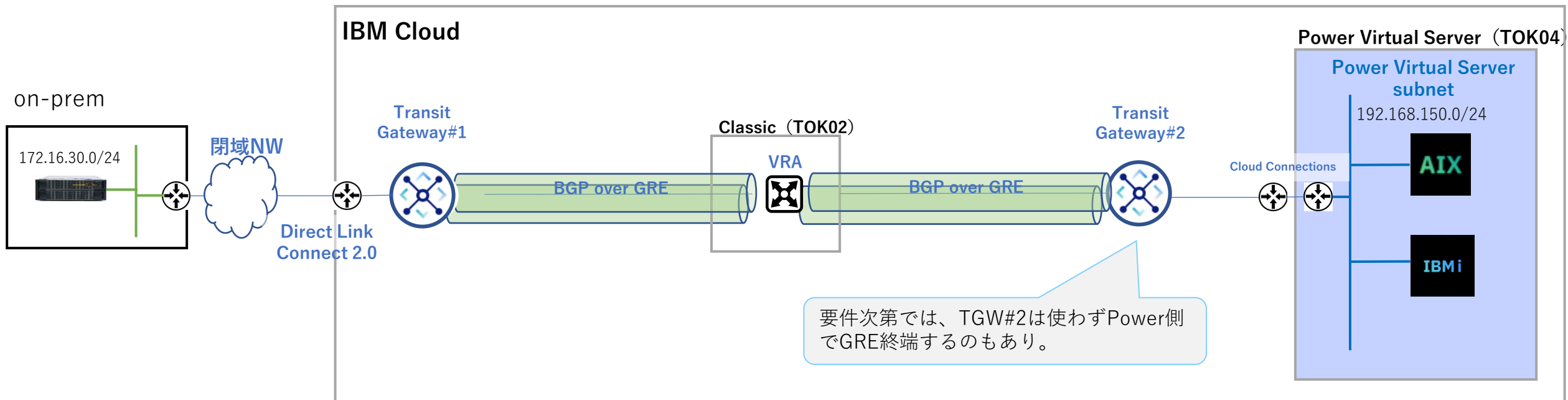
※2023年6月にDAL10で提供を開始したPER環境では、Direct Link 2.0 -> Transit Gateway -> PowerVSというアクセスが可能です。
<https://cloud.ibm.com/docs/power-iaas?topic=power-iaas-per>

お客様拠点とPower Virtual Serverの接続パターン



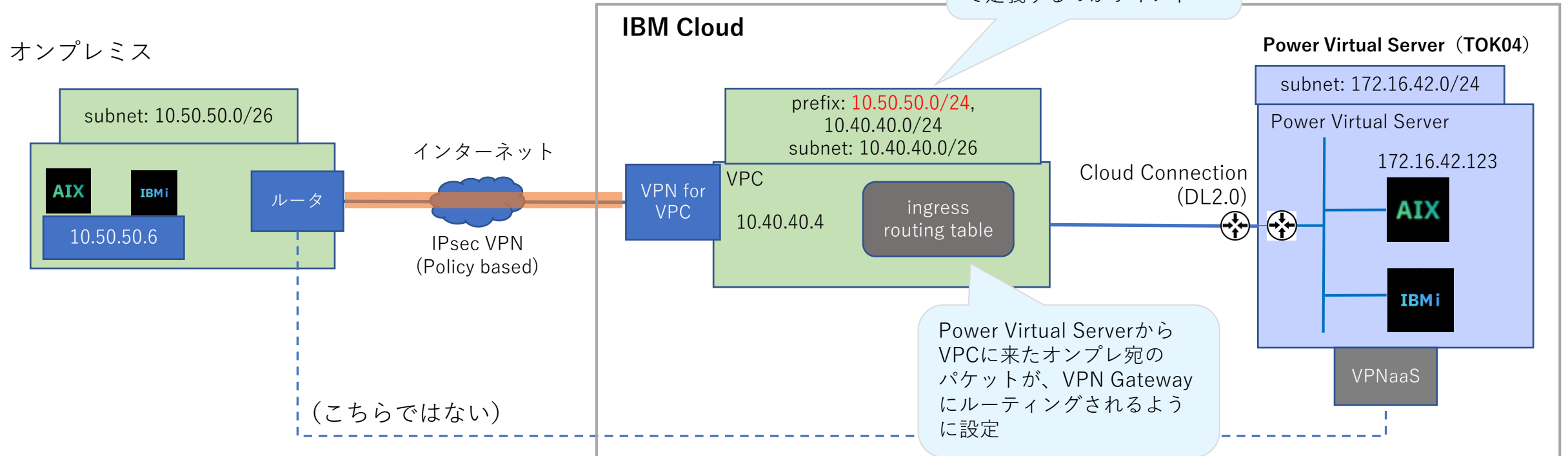
【実装例】 閉域NW - Direct Link経由でPower Virtual Serverに接続

- 概要 Transit GatewayとVRA間でGREを張り、ルーティング情報を伝搬
- メリット
- オンプレミスのルータにGREを終端しなくて良い
 - ケース起票せず、ユーザー側の操作のみで構成できる
- 考慮点
- GREを終端するTGWは、ゾーンもしくはリージョンを別にする（同じにするとASNが重複する）
- 課金要素
- Power Virtual Server
 - Transit Gateway（Connection 数&転送量）
 - VRA
 - Direct Link 2.0
 - (キャリア回線)

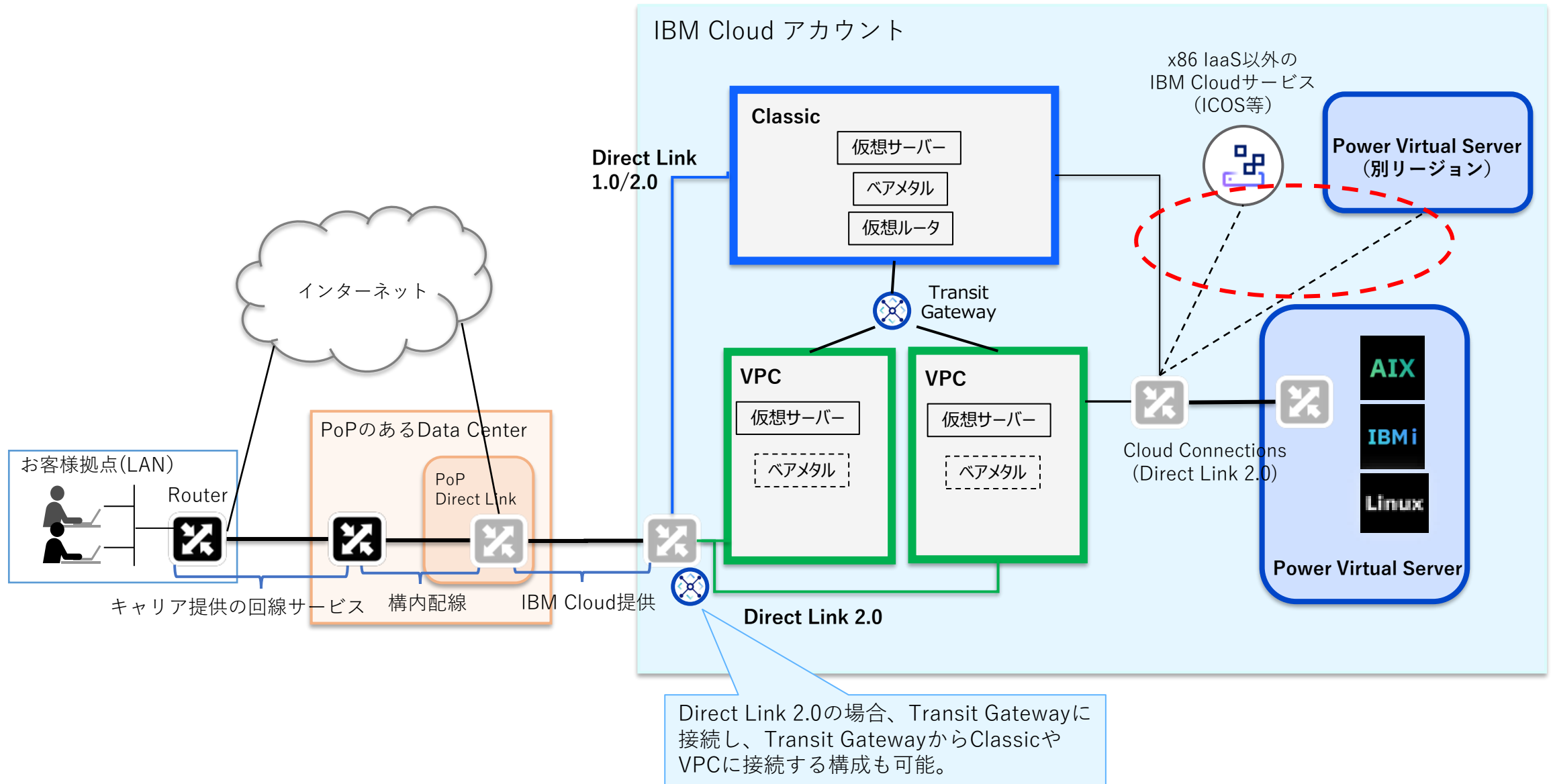


【実装例】 オンプレミスからVPN for VPC経由でIBM Cloudに接続

- 概要 VPN for VPCとrouting tableの機能でオンプレミスから Power Virtual Server にVPN接続
- 何と何を接続？ オンプレミスとPower Virtual Server（x86にも接続可能）
- メリット
- Power Virtual ServerのVPNaaSの制約を回避できる
 - Power Virtual Serverだけでなくx86側リソースとも通信できる
- 考慮点
- オンプレミスとのIPsecはポリシーベース
 - オンプレミス側のVPNルーターでNAT traversalを有効にする
- 課金要素
- Power Virtual Server
 - VPN for VPC
 - パブリック・アウトバウンド費用



IBM Cloud + Power Virtual Server ネットワーク概観



VPE機能でIBM Cloudソリューションへの接続が簡単に！

概要

Virtual Private Endpoint 経由で IBM Cloud のサービスにアクセス

何と何を接続？

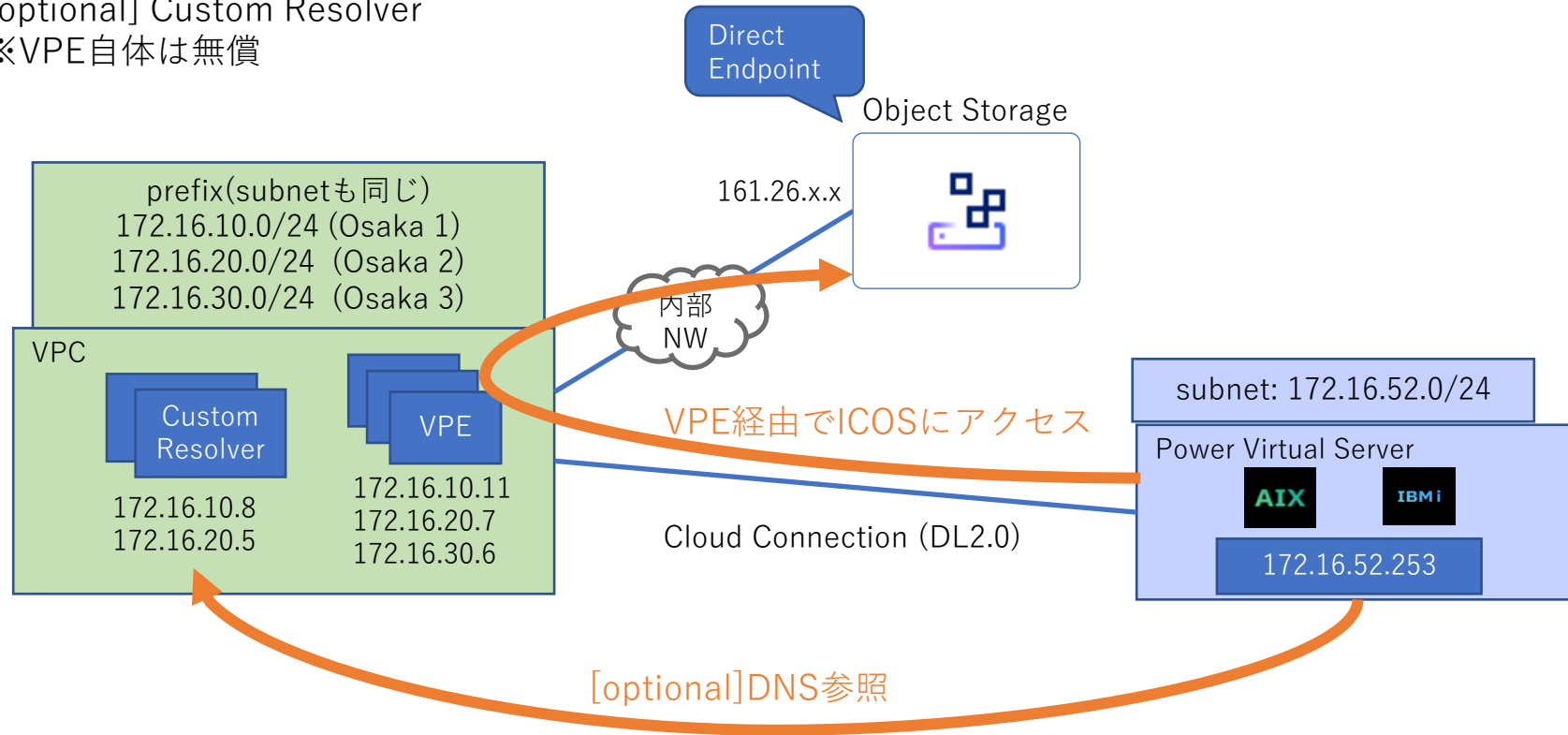
Power Virtual ServerとVPEに対応したIBM Cloudサービス（ICOS, Containar Registry, Key Protectなど）

メリット

- 自前のReverse Proxyを構築・運用する必要がない

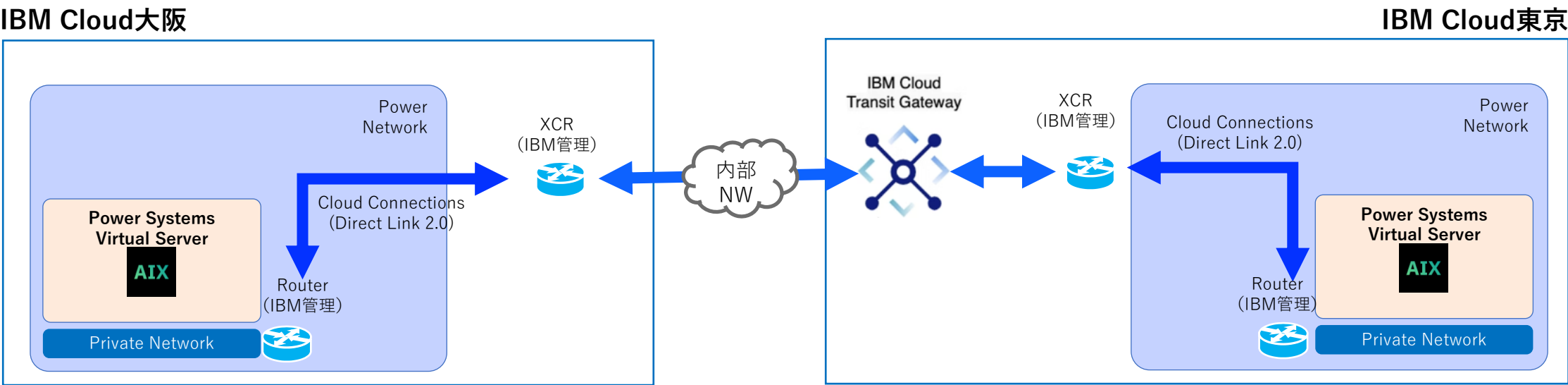
課金要素

- Power Virtual Server
- ICOS等、利用するサービス
- [optional] Custom Resolver
- ※VPE自体は無償



Power Virtual Server 間の通信 — Transit Gateway

- 概要
- Transit Gateway を経由して異なるロケーションのPower Virtual Server 間の接続
- メリット
- **VRAが不要**
 - **構成がシンプルで設定も容易**
- 考慮点
- データ転送に関し、約\$0.2/GBの従量課金
- 課金要素
- Power Virtual Server
 - Transit Gateway (Connection数 & データ転送量)



Power Virtual Server 間の通信 — VRA

概要 x86側の仮想ルータ（VRA）+GREを経由して異なるロケーションのPower Virtual Server 間の接続

メリット

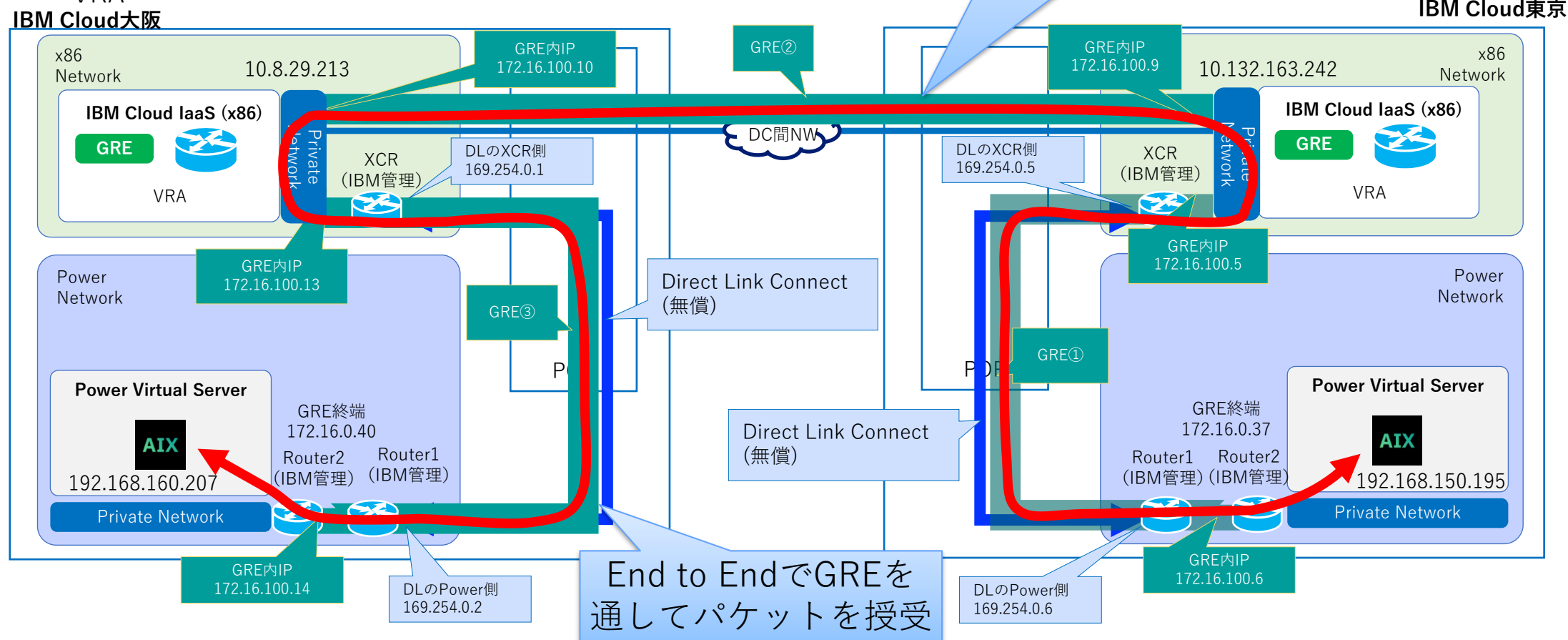
- データ転送による従量課金が発生しない

考慮点

- VRAの固定費用が必要
- 構成がやや複雑

課金要素

- Power Virtual Server
- VRA



Power Virtual Server 2023 Promotions



Power Virtual Server
Serves as the compute space for workloads

案件登録とオーダー時の注意事項

パートナー様案件

Power Virtual Server on IBM Cloud for IBM i	30CAP
Power Virtual Server on IBM Cloud for AIX/Other	30C1Z

IBM Sales

30AMT



Product

Power Virtual Server

Product Code
30AMT

Product Family
SaaS

Related

Details

Product Name

Power Virtual Server

Product Code

30AMT

「Reporting code」に**PWRAAS**を登録してください

SAP : **30A08**

IBM Cloud サブスクリプション オーダー

Power Virtual Server, ICOS, VTL, VPC (Network関連)などのIBM Cloudの関連サービスも一緒にPower Virtual Serverのパーツ番号でオーダー

型番 : **D06QDZX**

製品名 : IBM Power Virtual Server Subscription for IBM Cloud 100 Japanese Yen per Month

IBM Cloudのサポート:

SQO入力の際、**単価は10円**として数量を入力します

型番 : D1U52L

製品名 : IBM Cloud Premium Support 100 Japanese Yen per Month

型番 : D1U2KLL

製品名 : IBM Cloud Advanced Support 100 Japanese Yen per Month

△ Power Sellerにはクレジットされません。

Power
Virtual
Server

2023
Promotions

Proof of Concept
(POC)
**100 Proof、DR/HA/
バックアップおよびビジ
ネス継続性のシナリオを
含むように拡張

Migration Acceleration
事前承認が必要
申請 [here](#)

Business Partner
Rewards

Free Trial

Publicly Available
Promotion

Deal Size	Promo tier	Cloud Credits	Lab Services
ACV \$100K-\$200K	30 Proof How to	\$20k in POC account	\$10k (40 hours)
ACV \$200K-\$500K	50 Proof How to	\$30k in POC account	\$20k (80 hours)
ACV \$500K+	70 Proof How to	\$45k in POC account	\$25k (100 hours)
ACV \$500K+ (NEW Incl. DR)	**100 Proof (NEW) How to	\$50k in POC account	\$50k (200 hours)

Client Tier	ACV Revenue Range	ACV	TCV	Target Migration Cost 20% of 3Yr. TCV	Migration Cost Example	Credit Incentive	Client Credit Example
Tier 1	\$500K +	\$500,000	\$1,500,000	20%	\$300,000	50%	\$150,000
Tier 2	\$250K-\$500K	\$250,000	\$750,000	20%	\$150,000	35%	\$52,500
Tier 3	\$150K-\$250K	\$150,000	\$450,000	20%	\$90,000	25%	\$22,500

Partners Program	Promo	Credits	Services
Power Hybrid Cloud Bonus	オンプレミスのPower ServerとPower Virtual ServerのCloud契約の両方の販売が対象	\$5k, \$10k, \$20K	NA
Power Virtual Server “Move” Rewards	パートナー主導案件でPower Virtual Serverの販売が対象	\$5k, \$10k, \$20K	NA
Deal Size	Promo	Cloud Credits	Services
Small deals <\$100k	\$5k Attach Info and How to	\$5k in POC account	NA

Partners	Fund Details	Cloud Credits	Focus
VPC1000 promotion	Apply VPC1000 code here . プロモフライヤー here	Power Virtual Server を含む新しい VPC リソースに対して \$1k	•新規注文でのみ有効、対象案件数が続く限りプロモーション継続 •他の VPC 割引やプロモーションとの併用はできません

- 1 IDENTIFY
- 2 VALIDATE
- 3 QUALIFY
- 4 SOLUTION
- 5 PROPOSE
- 6 COMMIT
- 7 CONSUME

2023年3-12月期 Power Hybrid Cloud 報奨金プログラム

IBM Power サーバーと共に IBM Power Virtual Server を販売いただいたビジネスパートナー様に報奨金をお支払いします！

IBM Power のセキュリティと信頼性の高い高性能を維持しながら、オンプレミスでもオフプレミスでも、お客様のペースと価格でモダナイズが行えます。お客様は、IBM Power での一貫したエクスペリエンスと接続性を備えたハイブリッドクラウドのメリットを享受できます。

プログラム対象期間：2023年3月1日 – 2023年12月31日

報奨金の目安：

Power Virtual Server と IBM Power サーバーが同じトランザクションでお客様に販売された場合、以下を目安に報奨金をお支払いします。

IBM Power出荷金額	Power Virtual Server IBM受注金額	報奨金
\$100k - \$200k	\$3,000 以上	\$5,000
\$200k - \$500k	\$8,000 以上	\$10,000
>\$500k	\$18,000 以上	\$20,000

* IBM Power と Power Virtual Server はアンド条件で報奨金額を認定します。

前提条件：

- 本プログラムにご参加いただくためには、ご成約前に申請が必要です。
- ご成約いただいた期の末日（3/31, 6/30, 9/30, 12/31）から45日以内に、BP様より請求いただく必要があります。
- 最終的な報奨金額は、IBMにて審査の上、決定となります。
- お支払いは、日本IBMから申請元ビジネスパートナー様にお支払いとなります。
- 当プログラムは、事前予告なく、内容の変更を行う可能性があります。
- 本プログラムの正式書簡は、こちらからご確認ください。Announce Number: ZVJN3254A * 発表書簡は[こちら](#)（IBM Seismic掲載；英文）

2023年5-12月期

IBM Power Virtual Server “Move” 報奨金プログラム

IBM Power Virtual Server を販売いただいたビジネスパートナー様に報奨金をお支払いします！
同時にPower HWを販売いただく必要はありません。

プログラム対象期間：2023年5月8日 – 2023年12月31日

報奨金の目安：

Power Virtual Server をお客様に販売された場合、以下を目安に報奨金をお支払いします。

IBM Power Virtual Server IBM受注金額	報奨金
\$50k - \$100k	\$3,000
\$100k - \$200k	\$5,000
>\$200k	\$10,000

* IBM Power Hybrid Cloud報奨金との併用が可能です。

前提条件：

- 本プログラムにご参加いただくためには、ご成約前に申請が必要です。
- ご成約いただいた期の末日（6/30, 9/30, 12/31）から45日以内に、BP様より請求いただく必要があります。
- 最終的な報奨金額は、IBMにて審査の上、決定となります。
- お支払いは、日本IBMから申請元ビジネスパートナー様にお支払いとなります。
- 当プログラムは、事前予告なく、内容の変更を行う可能性があります。
- 本プログラムの正式書簡は、こちらからご確認ください。Announce Number: ZVJNxxxxA * 発表書簡は[こちら](#)（IBM Seismic掲載；英文）

Mobile IBM i (IBM i MOL) 概要

2021年10月12日発表

ポイント：

- オンプレをお使いのお客様がPower Virtual Serverに移行する場合、**オンプレのIBM i 使用許諾を Power Virtual Serverに移転**することで、**標準より安価に**Power Virtual Serverをお使い頂くことができます。
- P10以上のIBM i 使用許諾 および 有効なSWMA を持つお客様に適用できます。



オンプレ

- IBM i 使用許諾あり
- Power Virtual Serverへの移行を希望

39

【標準のケース】

- SWMA有無問わず



- Power Virtual Serverを**標準**価格で使用
- IBM i サブスクリプション/コア/月(P10, TOK04の場合)
 $\text{IBM i} + \text{基本LPP} + \text{SWMA} = \$1,582 / \text{月/コア} *$

【MOL利用のケース】

- 有効なSWMAを所持
- オンプレでのIBM i 使用を停止
- (SWMAの支払いを停止)

Mobile IBM i

- 契約書にサイン
- 使用許諾の移転

- Power Virtual Serverを**割引**価格で利用
- IBM i サブスクリプション/コア/月(P10, TOK04の場合)
 $\text{IBM i} + \text{基本LPP} + \text{SWMA} = \$696 / \text{月/コア} *$

